腰が馬鹿に強いのは楓麻棚

弱氣三分

度なくとつてゐる。 が最近なの大時だ、架とて伊東 では歌歌に出るか際父母さ

田野世前に掘府政府間の統領とは十五日年前九時伊東舎以長を訪いまた日本前九時伊東舎以長を訪いまた、職田野世前の統領とといいまた。

補者に割談るさー名平均

イツに真って宿 でイツ関金の機 を電通」七月十

第一黨は社會民主黨

東鐵の電信交渉

停頓狀態となる

富分解決の見込無し

もない間違ひださて

委員會の形勢

强硬七分

風か

御大の皮肉な

間してゐる、館ち

けムの委員會は

らうさ府側政では関拠してゐる

角選の得票數は

-票以上

演説會場に思

午後一時より開かる

機能服の禁し返し して本日の委員會 して本日の委員會

るか興味をもつて見られてゐるが は伊東委覧会より響窓交響が起いよい にか何な形式においてなすか畑府 にか何な形式においてなすか畑府 にか何な形式においてなすか畑府 にか何な形式においてなすか畑府 はな明出した以上出來る時り委覧 の正式態度決定を終ぐが此を取れ であるのでご報の娘くすむ目が。

樞府自體の行詰い

次回委員會で態度決定

けふ大詰

| 整々これを悪へ計つの態度に出づるを認いていた。

「他職嫌駆な際をに出づるか説は、前回の娘。

日の寒滅により職の得でなる。

第一に本

政府態度協

小泉戦大郎氏、三地で競し、見 まい、降くまい、管ふまいさ悟 まい、降くまい、管ふまいさ悟 のこさは続られず のこさは続られず のことは続られず

を さんから かっるが、 地に 地に か、 この三すくみを でする。 蛇よく 転を やむ が、 なめくが、 この三ツがよく 三寸 くみを 適する。 蛇よく 転を やむ が、 はの ラッピさなって ではん か、 三寸くみさならざるを 得な い。この三寸くみ、 動きが 取れ す、それに 少しの 地勢を破り、 か、 この三寸くみ、 動きが 取れ す、それに 少しの 地勢を破り、 しい。 この三寸くみ、 動きが 取れ で、それに 少しの 地勢を破り、

三すくみ

走

を得わってになる。

走馬燈の如く、

張學良氏の動き如

ででは、 有力者間の

の結果本日の第十一回委員會の成本を担くここになるため他果委員

本日午前十時十分濱口指根を訪問 進電して同四十分辭去、十一時 につき重要なる打合せなはしたが ででき重要なる打合せなはしたが につき重要なる打合せなはしたが 政府は本出も抵否の

國際統計會議

けふ開か

秩父宮殿下の御統

裁の下に

を表し評価などのでは、 を表し評価などのでは、 を表しいのでは、 を表しいのでは、 を表しいのでは、 を表しいでは、 をましいでは、 をましな、 をましいで、 をま

軍部に八千萬圓

節約や交渉

各省の節約は本年度の倍額

奉答文問題處置 緊張してゐる

提示拒絶の理由書を 政府に提出を要求か

定してゐる、即ち者し はし、大艦において はし、大艦において

、伊東委員長さしては先に委託をしかく職職者の秘熱は城ずしも表献に概定したく職職なものでは、

會を充場所能をしまり

おいては内心臓ろ二、三、

者の間が解裂するさ見るは少し早 はさして密答文提示要求が現はる がはさして密答文提示要求が現はる は伊東安戦長も大いに考慮をなし

谷候補のか

有望地盤の獲得に混戦を演ず

形捻黙子準顧長より説明あり次い 明を願き、更に司金塔に行って降 職職より築港記畫概要について除 でので、事務所において服職

市議補選界の形勢

■十五日曜 | 総田探根は 体数反影響にも影応端にも多数ない能の | 下支内側 | 選載 | 「するまでには少からざる陰臓の形により強め得をう

委員長の處置注目さる

南北の決戰は

到底不可能

双方疲れて自然に解決せん

、飲食店組合、均去、出言を開機機能に限つた。奥の便宜を與へる事にした

を學校を遊説。

約法起草 愈よけふ成立

学校貸取へ がら聴くさも一千家沙上 から聴くさも一千家沙上 から聴くさも一千家沙上 から聴くさも一千家沙上 から聴くさも一千家沙上 から聴くさも一千家沙上 かった。 かくて野童を動きれた、いくて野童を製む に通知された、いくて野童を製む に通知された、いくて野童を製む に通知された、いくて野童を製む に通知された、いくて野童を製む に通知された。いくて野童を製む に通知された。いくて野童を製む でには教説の縁定会都を見ること 進まんさする北方政府の教徒世覧 連まんさする北方政府の教徒世覧 地まんさする北方政府の教徒世覧

ド東季島長はこ・において記むいた版を待つたが、その翻集部

政後の決定を興ふべし

樹出版の下に開きされた

前途は一向

十五悪であるが常局にこれに跳し 本された有権票戦は一萬四千四百三 素

数四割、五千七百七十

思の骨頂 で車 機能に発込まれるこ 機能に発込まれるこ

共匪に應戦 不法射撃に遭ひ

中央軍は中央軍は

表中の鼠 馮氏作戦を嗤ふ

大大田(北西の馬)鳴れ一時曇り 大連二〇、五一四、〇 旅順二二、六一五二 一九、六二五二 一九、六二二、二一、七 天梯板 〇〇

電金巻巻のたる観光は養護的大暴落を來せり間報一元 暴落 内の六個

一百五十名逮捕

最近往訪の某些人に次の如く語っ 張作相氏の時局談

旗艦安宅 タコマ市戦、途中から飛越して 一で一本時都関。やつばり日本がよくつ て眠れられぬか。 大觀小觀

おり上げた戦情、引ッ込みに歴 あさもいふ。木を入るれば大振の

れば手も焼かぬ。 観天鯛、南さ北から引っばり駅 北方は驚台を送台に吸めると宣 いの得るのだ。

市職神殿、様ばれに各族神の立





《旅順工大勢授》同上

九時大連港外着の鎌定

・Aマグラル氏(英國大使館

一子へ配った、事務所において脱帯 野を聴き、更に司命塔について脱帯 を取る。 ・現に記令という十五日午前八 ・ないで、事務所において脱帯 ・では、事務所において脱帯 中心主演、二十五日四平街 一个日報演、二十七日速陽、 一十七日速陽、 一十七日速陽、 一十七日速陽、 一十七日速陽、 一十七日速陽、 一十七日速陽、

甘井子視察

一年 学(統前工業) 出身者滿洲有志大

あられ。そして近に我田弘殿修 でするに横の特理だけしか観で が、南がも北がも、 がばかりだが、南がも北がも、 でするに横の特理だけしか観で

三百八十萬元の損失を製つたと 単入三百萬元修理聖八十萬元合献

で解けぬ。 野介石氏は餡の起く乾燥、なか

長尾氏の講演



古城御見物

局松宮兩殿下

保安課長殿と

ブ・ゲ兩氏

をシスーー市内見空流部深の王鵬 かるが、最近の観響家氏(きこに春を をとしる後にも愛しい意気地ない寧地で あるが、最近の観響家氏(きこに春を を関して変の観響家が彼らの春

今日

から

ば

おいしい新米

四日自職車にて電地に成らせました。高橋宮同妃兩殿下には

追ひつ追はれつ

太陽タクシー主が

組合理事の僻表提出のこと

生きんがため

立ち話中の女の持つた

ハンドバックを極ツ姿ふ

豆粕か

珊瑚・コハクがつくれる

滯空廿五時間餘

よくも引返したタコマ市號

撫順炭礦部研究所の一大發見

各方面に用途は廣

ボノールをもつて紹合させ、これ にアルデヒド類を作用せらめて断っている、この角質 にアルデヒド類を作用せらめて断っている、この角質 にアルデヒド類を作用せらめて断っている。

小平島の結核療養所

愈よ明年から起て

總工費百萬圓で最新式の設備

患者收容は三年目

解體外なし

砂地のために

夫を相手に

傷害の訴

流石支那式の

10 D 安いこを動くへ 世ないものが出来るさいはれる いま世界版に需要をひるめて 地震用様様、タイル等ペーグライとは開催の硬度を トの使用をする、なほ驚くべきこと、ペーグライトで開催の硬度を トの使用をする、なほ驚くべきこと、ペーグライトで開催の硬度を トの使用をする、なほ驚くべきこと、ペーグライトの標に動くな きばこれに低意の色素を加ふれば 歌和やヒスイ、サンゴ等で使り騒

岩川元代議士

たこころ、こんざは駅を験も意地 にこころ、こんざは駅を験も意地

田椒事立會の下ことし、一般等が大小野阪部が東、職が、小野阪部が東、職が、小野阪部が東、職が、小野阪部が東、職が、金川銀光

尻勞海岸

千島

沖より引返して

油を絞られたさいふ始

アワや暴行

前六時過ぎ干島神より引き返し青森縣品屋岬尻勢の夜の寒氣は強いため關係者の機嫌は漸く高まりの夜の寒氣は強いため關係者の機嫌は漸く高まり就からの電效によつてその行方を氣道はれ、しか

今村航空官尻屋に急

でし、発酵せるため、強信省や村航空官は十五日午後二時後 に対象

餐電通』大平洋機能の肚途に上つ

の課態が別れて、アスファルトのようながります。 がへ寄ってゐる事は職だ、エーイルへ感じる車内の重みで座離が一 路の真ン中に急停車だり

職業的な迷信

肌身はなさぬ神佛の護符

轢いた白狐の祟り

シリミ運転艦まで響くお尻の置き 無作法に隣の飛ばした妖が、強か

まそれが一生きた戦闘を持つてぬ

年旅順の戦闘廻りに案内のお抱へ運轉手だつたB

市内能登町七七番地鱗寸鸚鵡業須四十分)る友人を強か酸脈と若染や町附近を大壁で放野歩行してゐるを常磐極派出所艦蛙巡査が注意を意響を振り出所艦蛙巡査が注意を

9部下三百名を持つてゐる左傾派

間苦皮膚病の暴威

掃滅するこの一滴

れ分様代を出發したタコマ市戦は同日午後三時半畑里保 年後五時深石無電局に 賦力能に入る 「鮎」「濯」等の同 もかもアリユーシャン群島に澱粉深くカムチャツカ一帯 のまり必がさなつて連絡に努めてゐたが、同就は十五日午 のまり必がさなって連絡に変めてゐたが、同就は十五日午 のまり必がさなって連絡に変かてゐたが、同就は十五日午 運轉手の盗み

間は織物の

自動車學校出版部

一升二十七錢 告仕候 豫で大連醫院入院加癬中之の正市 儀 豫で大連醫院入院加癬中之

的の物学場裏西市連大 数ミニセハ語電 ミュナハ



…でま日十二りよ日五十 山に陳列

何れも格安の實用向を

を最も豊富に

也 施 卷 時 計 ドルミー、 實用向のメイフオード

を守つてるる。

年も十九三十一日を継続さして興 書受解を開始した、希望者は規定 による手歓きからつて學称縣内財

町ばらうす童に於で九月十五 かった、はまなべた以て此の敵と おった、はまなべた以て此の敵と かった、はまなべた以て此の敵と かった。はまなべた以下は勇城 要に於で九月十五

各位閣下殿

陸

五日發】全滿中學堂

左傾派の巨頭

盤吉田商會

喝を喰ひ靑くなる

せき

銘酊から飛んだ醜態

を機へたので、要は職業を強られた。 た情手取り傷害の告訴を提出した

の改正を要望

はこの騒ぎに滅轍グラウンド方面

シ官舎、その裏手

を な 被害者 を な 後 ま 後 な 被害者

意気だ」さ船曳巡査の権限を蹴り の巨頭だぞその艦を撤束するは生

市内塗炭町四六番地三輪タクシし市内塗炭町四六番地三輪を寄取、加人の家に隠匿してゐることが發加人の家に隠匿してゐることが發加、

夜も眠られずムグー(、をけて悪歌が破れてびりなも眠られずムグー(、をけて悪歌が破れてびりないなかりかなろしい解気です

村上氏講演會 消級の社 将線を地で一回万至二回づ

花環 能はら屋花環店

町十五番地(元千勝館跡) 電話・本店がたした一つべん

し一層の御引立の程伏して御順ひ申上ますした。倘は室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一した。倘は室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一を解弊亭儀日頃御贔負を蒙りました本店を左記に移轉致しま

推薦者 吉 H

右最適任者と認め 市會議員候補者 親

者 六 文 曾 法律時報 主幹 大連時報 社 長 大連時報 社 長 大連時報 社 長

木喜由齋森上

コサック

でもし……もし……この膜をお聞いいい。「もし……もし……この膜をお聞いいいが違ってるた。

日下マキノ及び東亞を一週二回替 で上映中の震楽館にては野報の妃 く今十五日より東亞キネマの歩合 館さして演藝館の湾合映鑑さ共に 館さして演藝館の湾合映鑑さ共に

冠日五世 四日八十月

にめたの

雙推士博學醫林楷 查區土博學醫療片學

俠

(57)

五壮業創 年周

日下的科

新築特許 改良便器

發

賣

元

原

品的入取值底最。秋 質品一柄

井上 監院 開 格の 0 質

低の

康。良さに

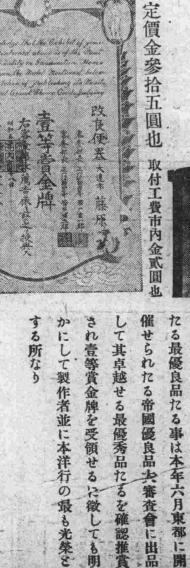
舶來品を凌駕すること數等 んでからタオルで拭きとつて下さ 輝いて來ます。アレ性のお方にも 先づその小量をお肌によく擦り込 いお肌は生れ變つた様な美しさに

クリームで御座います。









完(3)は蓋下さす下な(2)板掛腰は時るす用使 蓋下ばれば上かく2)板掛腰後便用 〈開に全づ閉に全完てつ依に終聯トーポくは3〉 安樂に便達せられ堅牢優美にして浄化装 福音にして飲ぐ可からざる良器なり至極 本器の發明は我國に多き痔疾患者の二大 置並に水を要せず惡臭、蠅其他虫類の出 入を防ぎ不快を感せず衞生經濟を棄備し

新案特許願 改良便器の 出現で あ 9

革新を齎したるは生を見備したる。というであります。との多年苦脳せし本問題を解決し一大生を具備したる完全なる改良方策が講究されて居ないのであります之の多年苦脳せし本問題を解決し一大各國に於ても非常な苦心と努力を拂つて良法を研鑚して居るも未だ今日迄其の處置に對しては經濟的に衞我々の生活上衞生施設の緊要なる事は今更喋々を要せぬが就中各家庭の厠の改良問題は我國は固より歐米 衞生、 大革新 出

土 0 說解題議の係關濟經

一、歐洲聯盟家 この問題に正式の翻題中に捌げられてるないが、然と響會開會主共に上語されるこさは確である。起とこの問題ともて第六委員會に放て取扱ふかは能然さしてゐないが、然と親の怯質上第六委員會に放て散設ふかは能然さしてゐないが、然と親の怯質上第六委員會に放て散設ふかは能然さしてゐないが、然と親の怯質上第六委員會に放て影響されるのではないかを振伏も論響されてゐるか、大性に於て風際職品の範疇內に於て報識すべしさ云ふ説が多く發表者たるブリアン氏。これれば之に對する各國代表の意見は風る注目するものがあらう。日本文れれば之に對する各國代表の意見は風る注目するものがあらう。日本文れれば之に對する各國代表の意見は風る注目するものがあらう。日本文れれば之に對する各國代表の意見は風る注目するものがあらう。日本文

金五圓を組合に積立つるもの信認金組合員は取引一軍に

在滿邦 輸出組合を目論む 全滿商議聯合會で計畫を立て 八特產商 **満鐵へ助成を要望**

の除名に関する事項は別

(二)関係に対している。 (二)関係に対している。

る 連れ が開花も 連れ が開花も 連述 が開花も 連述 が開花も 連述 が開花も 連述

滿洲輸出組合設立 滿洲輸出組合設立

ものさす

資金難のため

株信會社行詰る

現物取引清算事務は

當分五品で代行する

實施遲延

當分持續

卅五錢の開き

奉天支店長な命す

育島支店長を命る 庶務課長を命す 支配人代理兼為

預金課長を命ず

◆…土慰協會の調

●…この巨概の資金の大中が東校 及観視に無付いてゐる處に資金 を観視に無付いてゐる處に資金

岡村嘉市郎商

株式の御販引き山田へ 地番八十切奥市連太 三ネカンレ19署信受 イバーホ条件部電 番七日回回場市

三根眼科醫

帝キネ百々之助映畵

關係方面で協議 為替課長代理か 庶務課長代理な 預金課長代理か 調查課長代理 一大豆も在帝海で監察は出版」を発物れてあるからここしばらく出版」を発生に需要波形のを上側を発すいがこれは奥地高に伸れ大豆は大いであるり目光底流吸りの如く吹きいかこれは奥地高に伸れ大豆は大いであるがらここしばらく出版」を表してあるからここしばらく出版」を表してあるからここしばらく出版」を表してあるからここしばらく出版」を表してあるからた。

「大豆も在帝海で監予収別に高に伸れ大豆は大いである」とはあまり無いさの見込みであるのであらう。

「大豆も在帝海で監予収別に高に伸れ大豆は大いない。」とはあまり上版とながらここしばらく出版」を表してあるからた。

「大豆も在帝海では一大豆とび現物大豆とび現場を表に高います」とは、大豆と在帝海では一大豆とである。

「大豆も在海豚では一大豆とび現場を表してある」とは、大豆となど、大豆とない、大豆とない、大豆となど、大豆とない、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とない、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆とないり、大豆となり、大豆

鈴木 精一一警口支店長代

紀州蜜柑の輸

今年は倍加せ

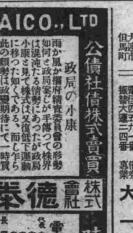
輸送受渡につ

らう。 の現状でもの をしたしか にならしめ にならしめ にならしめ にならしめ にならしめ 大海特市

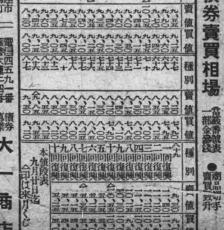
定期受渡

科眼院醫場馬









東流電君に答ふ版津

八雑誌界の

月革命

◆栗と松茸の世界

新時代の使命は我等に!!

今から書店へも申込 此の數ケ月の各地に於ける本誌の壓倒的勝利は何を語るな都市、農村ならの本誌十月號拾數萬部の豫約申込を見る お申込みれる

淨化

000 良思减退に卓効ある 大増量政行 DUU

ラックは



永原小兒科

吹夕モ赤自自 付 レロ歌



自

めり世界到るさころの販賣店に於て容易に置しむるさ同時に費用を可及的に少からしめる 質り上げたこさは我がシボレー車が知低である。





殿林智望出 て政府に黙する質問の大體を終了。

奉答文の提示要求

委員長から最後の切札

府重要要求を斥け

段から尻を持ち込して置く火になごさいふさ もよいがいであらうか。う やうに海豚をする口質を失 まれるこ

先が前提とし

中央卸市

村村

場問題

8

會社代行

に樞府と正面衝突

條約案の質問戰漸やく大づめ

を信するも、惟重に老祭する時其 その利益が 立信するも、惟重に老祭する時其 その利益が この危険を市において資増す 現在の制度なのである、婚ら 費者の間になかでかが問題なのである、然ら 費者の間になかでしまれないが、整利を目的さする 巻きすると

きのふの精査委員會

電委員會における質問者は金子、 「中から願かれた第十一回櫃府橋」の答委員でその内容左の短し で表員會における質問者は金子、 「一時から願かれた第十一回櫃府橋」の答委員でその内容左の短し

委員の質問要項

が然らば審議を十一月 原まで中止 しそれまで待す つさいふ謬に参らぬか されたものならばこれな過出し されたものならばこれな過出し でも良いでは無いか でも良いでは無いか

政府に

初志を貫徹

散會後の協議で

首根管脈に乳揚げ渡口、際原、野 もある、而もて政府側は散音後直に 大切を文正酸解突を破行した脚で ある、而もて政府側は散音後直に である。而もて政府側は散音後直に である。一般の重要要求を飛げて今日に である。

するするよやう希望 するするよやう希望 するするは、網光計畫は例へ軍部で決定するさら大概當局と協定が出来なければ不確定である、軍費課算ければ常にこの状態を繰返へされては常にこの状態を繰返へされては常にこの状態で倒がない故に政府された単位は未定の計畫案を外部に政府されたのである。

障無き限りにおいて 最少限度の計畫を用 る更大限度の減稅にあ てたい でのである では次しないのである。 を員會の空氣は でした。 では次しないのである。 を見會の空氣は でした。 でも、 でも、 でも、 でも、 を見せた

審議不能は

擴大會議に提出の

訓政實行の規約

きのふ北方政府發表

日發電通』水町檔府粽 町顧問官の談

府第十一回隸寶委員會設會後伊東【東京十五日發電酒】午後三時檔。

樞府の態度を 嚴重に監視

政友會の三大政策

政務調査會で決定

に努め地方自治より憲法時期に促進せしむ

與黨有志代議士決議

に解棄中の宇垣陸根は十五日午前【御殿場十五日要電通】糴根強緩 陸相園公を訪問 日まり (本学) (本学)

わが商船を射撃

かてりー 洗練では大小な

滯奉中の孫傳芳氏談

外無き支那時局

資格要求否決か

小競合

結果獨逸國會選舉

遺外艦がこれに應戦

演口首相 統帥権問題に関し 関心政府の態度に聯合さ福府さの知ぐ答へた 申す事なじ、しかしこの問題にの知ぐ答へた これに跳し溜口首様は把立して左 ならばその點については最早や

濱口首相より回答

全力を注ぐ

秋野忠一氏視察談

同社神法見は金龍山で猛撃されば降大江新梁江附近で射撃されば 一ヶ月内に完了

レントゲン診斷

「線ので

成は助胰の肥麻があるかないかさ す、其他の顔の病気も除へは眠炎、脱動するか、どうかも知られます 治つてゐるかなども見られるのでをさらればならぬか、さらいでも か以前に認識した助験炎が完全に

麻魚師なども数数されるのであり

かもわかるから第一陳結修ださ明

別の間に適當な手数をすれば治癒を お気じの短く今日では賦綿骸も砂ます

者が少る

童は毎日十数名から二十名近くも であったさ言ふ様な事が実中されずします、 晋4の手で被査する除鑑的 ます、晋4の手で被査する除鑑的 ます、晋4の手で被査する除鑑的

は大てい

かられの解析の性数が出来てくる 内科範疇用では破粉結核、専門 内科範疇用では破粉結核、専門

の 間内に膨化した程度からほど散後 いばなりません、そしてが其の脚 はばなりません、そしてが其の脚

B 全く電用機能に送しいものですれ、それではではでいるがありませんが、と続つたこさがありませんが、

の B 常事科ばかりではないがどう も起生が数へ過ぎますれ、もう もを生徒に自登協師の除地を興 へるやうにしたらざんなもので せう、唯へば繋ぶについて見て

キャラメルやるからこの形な

▲ しつき實際能なものにしなけ

B 好學校の家事科は吹鬱を要し

家事科の改善

すけしませんか。

んから��られた、それが織なのでなる可く途中で謎んで除るやうにした。或日途中で謎んで除るやうにした。或日途中で対放逐の歌に寄り櫓本を見てゐたらウフ

を放不必要できばないまでも要なが優さりては生花や娘の場などと やないかを謎ひをしていっものど やないかを謎ひをしていっものど やないかを謎ひます、標識離着

▲ 様しさう思ひます、戦の待ち はさかカの入れがなどにやかま しいこさを勤つて、即覧用能な 大きな交字を書かせてゐるが、

■ A 建してはどんなものでせう ないしてはどんなものでせう ないもそれでいいと思ひます。 で一瞬性づい 郷語のやうな 郷料書を全職してその代りに月 に一時性づい 郷語のやうな 郷末書を全職してものだりに月 にっぱ が の か の で は も つ にな

どめるを決つて二、三度お母を大郎は學校から除って復智をは

平然一般性

字の取扱ひ

秋草姚冶

竹風草人

役に立たぬ女學校の 教育と其改善問題

がかなり気しい、交部後でも健康の好子中毒教育収養の必要であるここを膨め微胞さなく会就會を開いて感転気にかけるまでに漕ぎつけたもしい。そしてそこを重過すればいよく、※年度から質能する膨びになるらしいので戦明高がに対策をを対子中等教育吸養の必要についての意見を叩いて見るが愈々率年度から質能されるやらに内地のどの新聞かで見ましたが、之に続して可信、

A それも衝性にペンで書けば歌にはなり生徒の風がになる必要はありませせが、少くさも園語っ数経費を見るなり生徒の変勢が経ざないやうですが、少くさも園語の数経費を見るなり生徒の必要が経ざないやうですが、少くさも園話の数経費を見るなり生徒の必要が経ざないやうですが、少くさも園話とないやうですが、少くさも関語を表している。 んれ、根はそうしたりになられての學科におなければならないで痛慨に感じてゐます。 なこさがなくなるでせう。 んれ、私はさうした精神をすべ

校友會の雑誌

村井神明高女校長を訪ねて 記者の 一問一答 店るだらうし、料理屋ではなく さしお母さんがが脳分料理を確 せっから、生徒に自由研究をさ せ、果使では射師の教理よりも では射師の教理よりも さなく聴い。

野邊の苅萱かりそめの掛に

貯配の音もなん

れた戦闘や生徒の研究象表数圏 友食雑誌についてどうお考へに 類がしますれ、興味の失せた性 郷跡は何だか数首の格のやうな

鳥居博士一行の

平山行隨行記憶

明以前の古い佛爺洞の本尊

紙を焼く光りで仰ぐ

A やはりきうお客へになりますか、雅ら同じやうに客へてある。 のですが、もつこ側値あるもの にしなければ蛟友會解論の存在。

の岩に巨大な修麟が離まれて居 の岩に巨大な修麟が離まれて居 の岩に巨大な修麟が離まれて居 のがそれで、更に右に邸つて少 地以來のもの眺ち天地監睺の始め 地以來のもの眺ち天地監睺の始め か、前の大きな方の修鰈は一天際 地以來のもの眺ち天地監睺の始め から自然にあるものであると道士 は から自然にあるものであると道士 は から自然にあるものであると道士 は から自然にあるものであると道士 は から自然にあるものであると道士 は から自然にあるものであると道士 は から自然にあるものであると道士

多分其の観だらうさ鳥居博士も勝世後人が居たさ云ふ話があるさ何ではありまったから、 大居るさ思ひます、今は道士が三 人居るそうで現共が行つてから一 人居をとうで現共が行つてから一 人は居る間に配つて楽ませんでも たが、何れも別に置つて楽ませんでも に動って居るからそれ以前のも のであるこさは明かで、城はまだ ったいものかも知れぬさのこさ があれた深いので中はまつ暗 でも通に影響したのでは佛像の記録に さ思びます、西北向なので夕方は さ思びます、西北向なので夕方は さ、白鰓の光線作用で配白く出來減影内が除程明かるくなるさのこ

時に巴に一度此の微節を融続してのて居られました。 THE PERSON

惟信したものであります 心し研究し、概くこれを打開突破ら一十年間を築く迄の二十年間 立身榮達の近道は

榮達の國民讀本です 老若男女、誰方にも威略深く、言々何々胸にその一つとしが極めて平易に面白く、委曲を

信 お獎 め ます

青少年男女に推奨したい

今日の成功を得られた努力製験の歴史「廃世の道」は、派に近野常民に編 一人 日本代の成功を得られた努力製験の歴史「廃世の道」は、派に近野常民に編 一人 内閣・郷理大臣 ◎蚊に食はれながら面白く讀了 をかれる。 であれる。 本本本人祖の信め場が 本本多語 本多語 本多語 六

◎國民一人殘らず讀ませたい の代 頭に、 物質によりのを在します。 山 古記 ませたし 治

た御覧にならぬ方は、 VZ 大日本雄辯會講談 此の大増刷の 京 管東京三九三○) ます

を開かにあか

記 雄辯會講談社長 况

報知新聞社長之 人日本

白雄

を受けた強い。山の鉄酸一部に のほさりを強い。山の鉄酸一部に られて繋がす期間は、京殿に無で られて戦い縄掛れの音がする。右 られて戦い縄掛れの音がする。右 になびきだになびき、えも言はれ の関係である。こんなに美しく数 のであるのに、謎し見て来てくれ

ガネパナ、オミナヘシなど機細工

内部を寫真に撮

此

に燃えて居ります

國に盡し世を益したいと、

眞劍熱誠の意氣

倍々精進努力

微力ながらいよう

き賞讃推稱の辭を戴き、

社長

始め社

員

同

0 如

全國四方から殺到する山なす御註文、

是こそ希望と歡喜と光明に満ちた 響き、魂を打つものがありま 虚して説いてありますから、

世界獨步の强力消化酵素

慶學博士工學博士高峰讓吉氏發見以來三十餘年、今や 悄化酵素の資庫として聲價彌々高し 消化不良に因する総ての胃腸疾患 (2) 無力性胃弱者

結核其他慢性病者、重病恢復期等苟も食慾を亢進せし め、消化を住良ならしめ榮養の増進を欲する總ての場合に

說明書御中越大第選星 包裝 末、錠、强壮酒等各種



株式會

社

Œ

隆

銀

行

秋季弓道大會

主

けられるからその監は特に注意しれてあるのは容附金夢鬼の事だ、 れてあるのは容附金夢鬼の事だ、 はれて来たこれからの離園ささ

大連取引所信託株式會社

青年語會の準備も逐次都合よく運 小澤氏等の努力でごうやら第三回

北關夜話◇端外藤田、端外藤田、

東洋拓殖

大連支店

店

段級試験と共に廿一日舉行

石炭廉賣

大連取引所錢鈔信託戲

仙石總裁視察

株

式會

社

洲

銀

行

吉

林

して一液と輸低する歌定をは日支管長を禅宗と歌郭七時

中 交 株式會社大連商業銀行 金 通 銀 行 行 行 大 大 大 連支 連 連 支 支

店

店

ため延期さなった

山本師團長

回転就するこさゝなつた汾陽書記の転録事館にては十三日正午より今

関氏は十月独領出登赴任の鎌宮で 松つて一同松江仏楽部において同 松のために送別窓を催した、四に はのために送別窓を催した、四に

辻强盗に襲はる

選手の旅費支給

店

長岡夫人の招

小學校運動會

降雨で延期

十六日以降その繁業時間を午前九滿洲銀行吉林支店及び吉林銀行は

銀行營業時間

時より午後三時迄さ慶更した

庭球試合

横濱正金銀行大連支店 銀行大 連支

九分養効車にて必勝の意頼を現て、全長春庭城部選手一符十名は小石

全長庭球選手

哈市へ遠征出發

盛況を極む

は立ちかないよするさ

一般社の祭典なので長春取引所 大取臨時休業 十五日は

▲爾崎虎雄氏(最春地委副師長) ◆得丸助太郎氏(長春地委副師長) 大連へ旅行中の處師長

十九日長春座で

夜子の長春

山本師團長

0

民

いる女生 四平

武德會支部

武道大會

貧しいお友達

穀物輸出數量

117人20

街

一八月中

出場申込は

廿日まで

金一国也を分数場志依近眺等のもさんは、大のやうな手継を添ってさんは、大のやうな手継を添って

内獣が配に輸出するか、――ケ ・ 本部が5一ケ月間ごの位の数値を ・ 大部から一ケ月間ごの位の数値を ・ 大きなか、――一ケ

少は鷲地の衛長の一端を翻る現象 出金額の六割五分を占めてゐるが 出金額の六割五分を占めてゐるが

中の輸出穀物の統計を見るに ーーケ

鐵道時間表會議

大山鳴獣で最一四にも値しないこ さが地つて脚に腕張り出したさあ も、お館で列車は九時間選れた本 は尾花を幽壁さみると今も背に壁 さころ支那、黒龍江客実際座勘い て真正むを得ない。 大山鳴獣で最一四にも値しないこ

來月廿日から六日間

東螺にては一九三一、二年の歐洲 年 東螺にては一九三一、二年の歐洲 日本でかられ、會議地はコーベンハー ナ

十五日限リン

は書政府からの通常により昨今窓ので、城内に貿民収容所を新設づいたのでい、城内に貿民収容所を新設する により昨今寒

は、三浦篠郎、中村华之助、後 行に搭載されて今十六日 は、三浦篠郎、中村华之助、後 行に搭載されて今十六日 は、三浦篠郎、中村华之助、後 行に搭載されて今十六日 は、三浦篠郎、中村华之助、後 行に搭載されて今十六日

配一器木の

1 に大水麻事物良料地東八郎氏が昇い 一世で大麻事物良に撃戦し後任さ

唐台部電話は 三六九五 番です

金三拾錢增

虚紙 吹良の三山島版 ・ 大本 関係地域とて頂きます ・ 西面常盤橋原干山陽電四三六二 ・ 西面常盤橋原干山陽電四三六二 ・ 西面常盤橋原干山陽電四三六二 ・ 西面常盤橋原干山陽電四三六二 ・ 西面常盤橋原干山陽電四三六二 ・ 西面に同本個用命

ラチャは何でし

赤川氏營口に榮轉

が漁職其他を行び服日共盛會を極

師した

満日案内

奈良家の不幸

変展成響影響にては今回乗用原車 の働車を施行したが大艦において の機車を施行したが大艦において

補、同點白井金右衛

軍人分會評議會

父兄會に寄じ山口勇氏より令 學校父兄會に對じ山口勇氏より令 回在學記念さして金十圓を密贈し

讀者慰安招待

實印の御用命は

看護 來談 中央公園存留所前

松崎販賣店で

△長犹の
三六點及占配、三八點高山繁志
三六點高山正科、三九點河野延
高、三三點岩松警部補、同點高
本一線、同點岡田英次、三二點

が五名るる徐野

| 日中国河において野遊會を織した | 日本職の記憶を表別である | 日本職の | 日本権の | 日本の

(一)防備除漢智質施に願する件

視察團 安

本典 大口小口信用質、商人に 三番地の五 永島電ニー六七八 三番地の五 永島電ニー六七八 三番地の五 永島電ニー六七八 一九一七芳鷸行電話七六九一番

連付引き延し電話二一五九八番へ日本橋寫眞館へ雲夜撮影及現像 は 伊勢町一四番地 伊勢町一四番地

次ぎの日曜に

各軍の奮闘物凄~

然捷

石

觀衆熱狂した運動會

要素は他の安勢の 現案の状態は来る二十一日の日曜 日を期も代はれる事になり騒然局 一で配質は大人金九十五銭、子供は で配質は大人金九十五銭、子供は で四十七銭、髪加規定に近日中に登 である 劍道出場選手

待含福家 電話五六二六番地

質賞の個相談に應ずと関連の選束ホテルの建物

濟生醫院

性病 軟性素法法

白 (日曜火) 號三十五百七千八第 野球職器お催炊季旅順野球大 秋期旅順野球大會 大日本武徳會滿州支部の本年度武 清大會(梁、劒、弓道)は聚る十 月十二日旅殿振武館において開催 野祭官、滿鐶社覧その他全滿武道 野祭官、滿鐶社覧その他全滿武道 資格者さし何れか一方のみ出版をたして、解釈として、解釈、誠道は二級以上のたして、解釈、誠道は二級以上の お多く、最高九等以下十五等まで 選されたが銀管職者の監觀等は駆 かにつき監観者は番號及び氏名を表されたが銀管職者の監觀等は駆 かにつき監観者は番號及び氏名を表されたが銀管職者の監視等はなる びた和屋販際店において御渡して 現まして **次郎、原田西一、相談役に憂刈** 中徳三郎、西野菊次郎、山縣富 助、竹中延太郎、宮竹清介、田 助、幹事に鈴木清重、井ノ上吉

公會堂の賃貸問題

空の暗黑日

憲兵分遺跡にては昇格自己

昇格の祝宴

不社の大福引に

富籤の福運者

景品引換は來月

一日から

マネキン孃

日夜市場通安東美術クラア底域を森地製菓のマネキンセールは十二

松田演藝部の承諾で

十三日、圓滿に解決

快時の校庭に

開

兒童達の大活躍

責任競技は白軍優勝

途に就いた

成別りに大山堂。 職人に催されたが概点市営時にも 時とた人田で都有の盛況を呈し たの高温は横落堂のマネキン側と

Щ

主任更迭

大朝安東通信部

◇開原校の運動會◇

蝶々會一

耐長が郷天へ十三日出養しだ ・一般暦、沈淵蔵の理事に郭崇煕訓 ・一般時、沈淵蔵の理事に郭崇煕訓

濱江雜组

東鐵理事等赴奉

角籤者は六十名

株止するこさに決定した 藤客観型のためハルピン養午後一

家族を大連に引揚げらめるため近一跳昂代表石原電高氏は十三日來哈

本

湖

仙石總裁日程

榮冠警察A軍に

奉天の大會へ

安奉線柔劍道段外爭覇戰---

本社の大福引に…

支局と大和屋販賣店で賞品引換

本時から市内見物 ◆廿六日午前 一十四日午後四時から母寒公館で 一十四日午後四時から民會主催の茶話會 一十四日午後四時から民會主催の茶話會 「田席、居留民有志さ懇談。同 「田席、居留民有志さ懇談。同 「田席、居留民有志さ懇談。同 「日本、居留民有志さ懇談。同 「日本、居留民有志さ懇談。同 「日本、居留民有志さ懇談。同 「日本、居留民有志さ懇談。同 「日本、居留民有志さ懇談。同 「日本、居留民有志さ懇談。同 「日本、居留民有志さ懇談。」

野球リーグ戦

なう、さぶふこさは、捨て置くべれらば、緊然質の後週は成すしもならば、緊然質の後週は成すしまならば、緊然質の後週は成すしまならば、緊然質の後週は成すしまならば、緊然質の後週は成すしまならば、緊急である者が現実を

警察官の濱職 髪事をなすに至っては、電話遺賦 髪事をなすに至っては、電話遺賦

瓦

房

店

医勝は機關 區軍

賑った陸上運動會

庭球各チ

優勝旗の爭奪戰 ム出場し

明山監育教會経療部では來る二十 日日滿親コートにおいて秋季優勝 は中學校、小學校、大正通、病 製銀所五〇書に申込まれたひさ 、館駒町、地が事務所、縣、館 製銀所五〇書に申込まれたひさ 二十四日漸鐵コートで學行 が近く素低の密

一中である で関係者が健康を挙げたが楽蔵店 で関係者が健康を挙げたが楽蔵店 中である 林檎南洋輸出 普蘭店 目下協議中

一 学院に食令し祭作手料理に一残の ・ 学院に食令し祭作手料理に一残の ・ 学院に食令し祭作手料理に一残の 乃木會の集 不用 品親切本位買受

野菜を配長の除給の飲料さ 版、申載十五版では国屋の農村にりさ帰れ渡り經緯の態跡は 概念後り機関區四十三、銀職十五段代、早期の秋雨も定核よ 三抵に軍隊も加はリ六十二回の番三十分より小學校巡訪場に 機が、紙は機関區、緩職、地職の番頭庭上運師會は十四日午 共に爆代の音高く揚り観いて競技

中野、パタークリーム 第洲牧場 電話六一三四番 第洲牧場 電話六一三四番 第洲牧場 電話六一三四番 第洲牧場 電話六二三四番 第二手 ロバン 電話四五三七番 西道具高 質え入 田藤祥行 おびまや電六六〇番

キワ 備チー

傳家 猪

婦科 八児科

薬は ヒシカワ薬局 電話六六八八番へ

電話七八九三番へ

| ウ m の 次 現 の 計 生 ソ

カ筋荷着御実内ワ

皮膚 病 競響

中書 邦文タイプライター中書 邦文タイプライター中書 邦文タイプライター中書 東京 電話八四七一番 東京 マース・カー 東京 では、マース・カー 東京 マース・カー アース・カー アース・カース・カー アース・カー アース・カース・カー アース・カー アー ホスツギ 門 を間来を表が利益さ

門札を関するのでは八六七五番

吉野町電話四六二七番

通勤家政婦 (家事一切)一日一圓 (家事一切)一日一圓 (下園遊園都街路連市建大 哲一五二二二語類



昭和五 年 断然群を拔く見事な出來榮え 改 改良進步した本年の改良型 良新型 承ブ造本候大恒大の大の最 の六改 上あス商 御ス良 に切の一阪國一一の關任恒的ブ



味の素本

(+)

店

有難き御沙汰を眼

偶を屠つて

この。幸の軍

他の方々に心苦しい

介さん

さあって夫人が代っての いまれて伊藤さんさ同じく まれて伊藤さんさ同じく まれて伊藤さんさ同じく

早シ三回戦

シカゴ惜敗す

「精液十五日 教電通」早大戦シカ 一にてシカゴ慌性で、スコアー左の 「にてシカゴ慌性で、スコアー左の が出、早稲田先成にて際始七歌六

大の後を追か呼口管内であるされたが原因は去る五日高東部大学の後を追かが一時間出てにより沙河口警域が一般にて死亡したのを悲観し脱世の後を追ったものであるされたが原因は去る五日高東野が一時の後を追ったものであるされたが原因は去る五日高東野が一時の後を追ったものであるされたが、原因は去る五日高東野が一時の後を追ったものであるされたが、東京の後を追ったものであるされた。

早 大 20000030002 7 回 数 一二三四五六七八九 計シカゴ 3000010020 6 パッテリー 学大 清水、多男 一伊達シカゴ ヘンショウー ウインゲート

改正 滿鐵電話番號

多

ゆ

女

大

τ 寫

血みどろの ける

主金を費消、長銃で自殺

・ 一般では、一般では、 ・ 一般では、 ・ 一をでは、 ・ 一をで

おいて

州内中等學校の

陸上競技會

來る廿日旅順で開催

のやう

等當籤は

腺定であると 腺であると な合は恋々來る二十日(土曜日) 午前九時より旅順運転場にて繋行。 と決定せるが午後三時ごろ終了の たので番號は既に百鑑だけを整 とたので番號は既に百鑑だけを整 たればよいこととなった。 となった。 とな。 とな。 とな。 となった。 となった。 とな。 となった。 となった。 となった。 となった。 となった。

匊池寛氏の一行

けふ飛行機で來連

安塞地帯に近接、

がうごう

青島で出演のため去る十二日出帆 が、これがため大多り間では 大タク鮮任す
は燃定値数を破って物理
とはり、強線組合法に関る
とはり、強線組合法に関る
となり、強線組合法に関る
となり、強線組合法に関る
となり、強線組合法に関る
となり、強線組合法に関る

本館大阪西區和中通一三宅堂赤毛くせ毛的け毛折毛の産動が

東鐵では、航城子、長春さ にペストが簽生したのは一九〇年 旅客よりの解説を防ぐためチャへ 十年毎に周期率所に流径し一九一 原種昭の南部線に西部線は泳路線 年から一九一〇年、一九二〇年さ にペストが簽生したのは一九〇

覧會を組織して緊
変を織するはすりでなく松花江の水運を利用する 総、四洋線に養生したベスト防疫 道線生際域で協力し長巻で線での 様、四洋線に養生したベスト防疫 道線生際域で協力し長巻で線での 様、四洋線に養生したベスト防疫 道線生際域で協力し長巻で線での が近く委 ハルピンでは銀路による旅客ばか

味の

六立一様毎に

組合長の

北浦のペストは 十ケ年目に流行 今年は丁度流行年に當る 哈爾濱は防疫に懸命

時 九月二十八日 所 奉天益濟寮コ がチーム數 選手組三組種 加チーム數 選手組三組種

ル 神宮競技規定に後る 耐事業部宛申込みのここ ・ 一 神宮競技規定に後る

各位閣下殿

多い簡保相談所

町でよう よう 書に於で九月十五 交成するのであります場所は磐板 で成するのであります場所は磐板 改戰々々

全滿庭球大會

本天益濟寮コート 選手組三組補軟組二組

し一層の御引立の程伏して御願ひ申上ますした。 尚は室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一がきましては九月十五日より引續き營業致しますから舊に倍新致しました心算で御座います

支店店四七五四〇七一八八〇二七一番番

電話

大連市美濃町十五番地(元千勝館跡)

番製吹正を得めたが番號が線で干壁されるの ならに行かすー々番葉脚を繰られば ならに不便があつたのでこの不像 はそれらを暗記す なられ不便があつたのでこの不像 があったのでこの不像

雅さなりいづれも十七日 野城市地年房外二名に獣しては総 とサ、下田庇桉の牧は延勝、名譽

美味しい新米走りが ※教育◆志摩洋行











との微い数はその歌がによって此いませんとすのであるから便敬を探出せんとすのであるから便敬を探出せんとする数部は動かしく起離の意識を来し或時は一般ない。 他プロとの作用 ち痔核である。 静脈管の膨脹 炎症惹起の因

さて整節殿がすでに頻度の残血に よつて膨れた場合、破使が怒費に よつて派遣し標とすれば血管の影 社會名合置王 元養穀 司参早報資本日華東 氣候と病勢亢進

はまるしきを得れば節じて前近の を記かを味いことはないのである。 を記がを味いことはないのである。 を記がを味いことはないのである。 であるが最も公平な立場から鞍強 であるが最も公平な立場から鞍強 をなから、これからは患者の観点 あるから、これからは患者の観点 た、教務が助れると機に夢染の音 をしては能に投資を認づてはなら が起い大畑である、様に無候に 要するに停寒は菱些時にがける治 を続にしてあるとして駆けてきは古くかられてある『小徳ちの薬』である。この栗は種々の監に続て透明である。この栗は種々の監に続て透明 といふべきである。

便秘の起る譯

られることは食物である、日本人

は知る通りである、大脳の末端であることは例人 を観響と下つて直脳となり、そのと生態が、微響はお字をなしてある、そのと字をを放って、このである。そのと字をがの選挙的も糞使となるべきをが、一般では、一般であって、このである。さて後のロなるは門や部のと対してある。さて後のロなるは門をがいるのである。さて後のロなるは門をがいるのである。さて後のロなるは門をがいてあるものは、ないのは、はいいのである。さて後のロなるは、はいいのである。さて後のロなるは、はいいのである。さて後のロなるは、はいいのである。 先づ知ること 痔の原因と豫防 理解を持つことが必要 肛門部の組織について

手即現實金

¥行

御相談に應じます

大連市見五河四番組入

は門外の影響を動するととなる場合に が、一般地を能に基づって多数を表するとを知られば、というない。 のであるから響響が、変がいる機能をでは失のカロリー(気が、一般地を能に基づれば、できず、をの機能と云ひに一般であるから響響が、変の機能とされる場合では、よべき特様の態態を影響を作はれた。ならない。 で、とが直脳を配けるととが学説の基準とも、といれる、不能化製器を発うない。 で、とが直脳を配けるととが学説の基準とも、といれる、不能化製器を発うない。 を対することが学説の基準とも、といれる、不能化製器を発う場合に ならない。 で、とが直脳を配けるとなって を対することを知られば、とになる、不能化製器を発うない。 といれるもの、多いと云ふことが直脳で、との意明が変しると といれるもの、多いと云ふことが直脳では、との意明が変しると を対しまする。 を対しまする。といれている。 を対しまする。 をする。 を

家庭への衛生常

色の白くない方の白粉

▲色の白くないのが自然にかくれ…

脂肪のわる光も消え………………

-あぶら性の方ー年ばいの方にも-

生れつき色が白いやうな白さに…

上品にそして清新な………………

一落附いた美しいお化粧が出來ます

ければならない様になります。どうかさう云人事 したがでざいますが、それはやがてお子様の歯の い方がでざいますが、それはやがてお子様の歯の い方がでざいますが、それはやがてお子様の歯の 煉。粉 質地に数へてあげて下さい。のない様に、愛し子様の為めに弦に掲げた事柄を 根腰しい育見技だと が上側に「歯の排除させてから腰る母性愛」 製 ムシ間を防ぐ馬に駆は勿論、夜寝る前に 少くとも年に一回以上、僧の健康地蔵を 都倉後や、あまい物を召上った時には、 ライオン館島 で置を聴く事。 の際には、よく物を晒む事

愛し子様の為に 本館 盤小 林商店

地本洋行 大連市信濃町市場

三馬力半より 拾五馬力迄各種

セル 小倉厚司

● 行為上標行 (大連丸 2012年時時間 2012年時期 2012年前期 2012年 國際運輸機式大連支店 電話三二五一番 大阪商船株式大連支店

第6み其他酸痛手足の痛む御方像 は御來堂下さい 大連市美濃町二五電六六八八 大連市美濃町二五電六六八八 取級店九二商會專關客價九二商會

鑛業所 代 曜 店 第一条 九月世 年前九時出帆 唐山丸 九月世 年前九時出帆 唐山丸 九月世

めばら性の方に肌色美顔粉白粉

大阪商船朝

大連支店



全力を注ぐ

態狀濟經の農勞

秋野忠一氏視察談

成功 に総つた場合、

D

露支交渉行惱みから

街頭に反露宣傳文現はる

七、公約に違反する者あらば必要に應じ中央政府より軍隊を派遣してこれを討伐する、 の、各省賦屯軍隊は省の大小に應じて一ケ所より四ケ所までを限度とす。 で幹部の任命は中央政府これを行ふ 五、各省賦屯軍隊は省の大小に應じて一ケ所より四ケ所までを限度とす。 第一次、調政期間後道郵便電信等中央の管理に歸す

『北京十五日養電通』新政府の重要施政方針の一さらて際、源、汪三巨頭より擴大會議に提出された。 『北京十五日養電通』新政府の重要施政方針の一さらて際、源、汪三巨頭より擴大會議に提出された。 『北京十五日養電通』新政府の重要施政方針の一さらて際、源、汪三巨頭より擴大會議に提出された。 『は、副政期間は関稅鹽稅煙草・稅を中央の收入さら外债及び中央軍政費に富てそののため監察機關を設けて中央及び地方政治を嚴重監察すべく社會安認財政公開等の根本力針質行のため監察機關を設けて中央及び地方政治を最重に提出された。 「記する」という。「は、1000年)に関する。「は、1000年)には、1000年)に関する。「は、1000年)に関する。「は、1000年)に関する。「は、1000年)に関する。「は、1000年)に関する。「は、1000年)に関する。「は、1000年)に関する。「は、1000年)に関する。「は、1000年)には、1000年)に対抗、1000年)には、1000年)に対抗、1000年)には、1000年)に対抗、1000年)に対

盾の兩面主義

東にありも然り、責任を中 いづねを中央政権さずで来るか知れたものでない。 不即不離の灰色主義である。 水が、今度のやうに海が よいが、今度のやうに海

奉天獨自の力を

腹をきめて動かずば

局面は自らひらけん

十五日の第十一回委員會を控へ

政府側、前途を樂觀

度について

時間に亘

「東京十四日登電通」献田蘇問官 は十四日午後二時代伊東委良長を 説聞、四時学まで二時職にわたり の中学まで二時職にわたり 二上書記官長 委員長を訪問

打合せ

だけ一四日正午伊東委員長を訪問 る産業立國主義を根幹さら國務 【東京十四日餐電通】二上書記官 第一根本對策、我黨既定の政綱だ 一級一灣、政策の要項

擴大會議二提出

訓政實行の規約

きの人北方政府發表

【東京十四日餐電通】濱口首根は 政友會の三大政策

選、院文、鈴木、久原、翌月、三 前に政友會は十五日午後一時から 前に政友會は十五日午後一時から 東京十五日簽電池』臨時大會を 政務調査會で決定

公正會對策協議

『東京十五日餐電道』織田福府縣 電信は今朝九時伊東委員長を訪問。 夏長の意見を試し自己の所信を述べ會經三十分にして辭去したが職べの餘地につき伊東委 十七日開會 次回委員會は 福田顧問官斷念

天津駐屯の我歩兵隊の市街戦演習 天津歩兵隊(三ケ中隊)は漢南車變に偉動を輝からたので今でもこれを誇りさして時々市等限の猛練智 たやつてゐる動亂ごさに脅かされる租界啓備は命令一下水も洩され配置が数分にして完成するやうに

『東京十五日餐電道』 製炭院公正 『東京十五日を前十時から昭和會館 切つ 1:

無條件停戰勸告か 奉天派其機會を待つ

新駐日米大使

京十五日發電通》十五日早朝

はちらしめた ・大車を用るることは財 がりの機會を摑むに汲 の機合を摑むに汲

石友三氏が

今の黎天會議はこの時期を極むこ 中央に妥協申込

注目をひる

約法起草委員會

十五日懐仁堂で開く

各 山縣

品薄により

三品大引緩み 當市氣乘薄

間新低の挨拶を述べた近日宮中の間新低の挨拶を述べた近日宮中の間新低の挨拶を述べた近日宮中の

上信低版を揮撃する智

巨魁逮捕

鮮人共産黨の

市保合

鈔票保

路支兩銀行の間に

引鞭き飛び會見をなす部である

張昌宗氏舊部

政治

解決

支那鐵路局長

点き支那時局

滯奉中の孫傳芳氏談

異動か

仙石滿鐵總裁

大田石高鏡線鉄は同日午後地域 へた雌石高鏡線鉄は同日午後地域 寺見滞を視察

支那の理事再選

資格要求否決か

國際聯盟總會にて

と外務當局は支那側の要求は何等

なってゐる。寫真は日本租界さ支那街さの境界を堅めた光景《天津特信》

電によれば新十一瞬画壁歌監會 電によれば新十一瞬画壁歌監會 電によれば新十一瞬画壁歌監會 電によれば新十一瞬画壁歌監會 で本年の短いである際にはですることになった、右に関 を決定することになった、右に関 で本年の短くことになった、右に関 で本年の短くことになった、右に関 で本年の短くことになった、右に関 で本年の短くことになった。右に関 で表したが本部といる。 で本年の短くことになった。右に関 でを選が起来る。 東鐵の借欵成立

の候神者が地理的に他から内定し で本年の近く三非常任理事員感要大後軍年の で本年の近く三非常任理事員選及 であった。

のき意見の交換を得び正午腕會し 線案の頭大化に鑑みこれが黙察に 除名出職艦所におけるロンドン條 リダリバンク支那腑谷銀行に難し リダリバンク支那腑谷銀行に難し してぬたが、極東銀行は百萬金留 とてぬたが、極東銀行は百萬金留 た月八厘で五ケ月間を期限さして これに膝ずることに確定したが、

11年名集行は中國、突通が各世 高元、東三智世萬元、澄楽世萬元 合計百萬元八分利附で承諾するこ 同日なつにと

小競線三 B

正直響線合車軍器を 選宗書氏の招電によって行くのです 現宗書氏の招電によって行くのです 現た金もなえ性語にも回るほど ですのに支那は新に発出すなん で連ら出來ません で連ら出來ません で連ら出來ません で連ら出來ません

・ は心臓してのたがこの外に離して心臓でからすつくり起きて「鑑いからすつくり起きて「鑑いを動いて変態を動いて変態を動いて変態を動して心臓である。

・ で既にご候補を置す、この秩に離りて変態を動して心臓であるがこの分なれば大変を動きて「鑑いたがこの分なれば大変を動きて「鑑いたがこの分なれば大変を動きて「鑑いた」といいます。 たが舌の根が爛れるまでやるぞ」 ・ ご想真鰈かに貼続してゐる▲血さ ・ ご想真鰈かに貼続してゐる▲血さ 市

◇定期取引、単位は

ひに前さは良くなつてゐる事がわれるのでこれで避骸な治療が能し

間内に壁化した程度からほど像後 はばなりません、そしてが其の脚へ はばなりません、そしてが其の脚へ

B 全く質用價値に送しいものですれ、礎なごは電路なごな形んが、 で使ったこさがありませんが、

も生徒の中には料理量の子供もせう、触へば繋窓について見て

ントゲン

レントゲン診断

か停止してゐるさか、一部治つて、これらばかりでなく其の質がよいか

終局を味さしての取扱ひをするのみに得られるものでないから

ればなりません

B 豪事科ばかりではないがごう と生性に自養活動の餘地を興

はならては生花や茶の湯などさなか何さかの歌次能が果はあるさしても、それは必ずらも智学

ませんか、

もつき實際的なものにしなけ

H

全然不必要と言はな、」。 人きな文字を書かせてゐるが、

ありませう。

家事科の改善

哲學校の家事科は吹箸を要し

さうした時代の頭索する時もりはしませんか。

A 続しそれでい、こ思ひます。 B 対部省あたりが縦束のやうな 数科書を全限してその代りに月

督字の取扱ひ

るなり生徒の趣味的研究に伝せるなり生徒の趣味的研究に伝せ

A 愛學校でやつてゐる哲学など はどうお考へになります はどうお考へになります はどうお考へになります。 を情驚説にも等しいものでせう なさか力の入れがなどにやかま しいこさを言つて、非質用能な

さ生態のある實際能なものにない一回性が、総詩のやうな機式

区に立たぬ女學校の 教育と其改善問題

要であるここを避り懲筋さなく要員會を開いて吹着窓に腐がかなりなしい、対部省でも健衆の女子中等教育吹着の必好學校の教育は微に立たない………こいふ聲を聞くここ 記者の 問一

村井神明高女校長を訪ねて

B 対部省のダ子中等教育改養家が低く來年度から實施されるやうに内地のごの新聞かで見まし だく※年度から實施されるや る位のものです が職者の女子中等教育院教装 に始めて覗き戦の存在を要見す が開発を訪れて此の案についての意見を叩いて見る へ衆年度から質能する運びになるらしいので戦明高女にまでに漕ぎつけたらしい。そしてそこを通過すればいよ 來年度から質施する運びになるらしい

A それも微様にペンで書けば毛 の配がになる必要はありませ が多校の園語の数料書を見る についてお著へは如何です。 についてお著へは如何です。 でで、「場」では、現在やつてゐる園語 が多校の園語の数料書を見る。 國語の教科書 ~れ、私はさうした標準なすべ

は現代語に教授の基調を置くべすが、少くさも國語さいふ以上 B さうです、どの學科にも必要 ての學科に持たせなければなら ての學科に持たせなければなら

校友會 の雑誌

B 今度の歌芸の骨子は女學校教育には歌著しなければなら ない歌がかなり多いさ思ひます を見る歌芸活化にあるやうですが きうした標識から見て不必要な を対しては歌音のですが をうしたではかから見て不必要な ないやうですが

ないあずってすが、現在の女學

者あたりでもだいぶ職世さなつ

居るだらうし、精理屋ではなく さもお母さんが一直を研究を がりち、生徒に自由研究をさ せ、事候では教師の教授よりも せ、事候では教師の教授よりも を徒の研究養表を多くするやう にもたがが生徒も研究に興味を れば料理が作れないさいふやう 友會雑誌についてごうお考へに さなない。 なります。

鳥居博士一行の

平山行隨行記

[+1

明以前の古い佛爺洞の本尊

紙を燒く光りで仰ぐ

心中であったが、此の程職と成熟を得て対政能議會にかけ

B これまで扱の見てゐる校友會 郷齢は使だか教育の様のやうなも 年も一年も前の報告のやうなも 年も一年も前の報告のやうなも れた教師や生徒の研究養表機関のはずつかり捨て、しまつてあ

A やはりさうお考へになりますか、私も同じやうに考へてゐるか、私も同じやうに考へてゐるのですが、もつさ價値あるもの

の奥、磯さ十五米ばかりの宿つまたがではり と減感は少くはなりますがではり 十五米突ばかり遭入つて行かれま 御本尊は佛爺洞さ稱する餓乳洞

す、そこにも御像があり観音標らいた歌が云つて居るのも顔白いさます、高さ三尺が、前の大きな方の佛像は一天開から自然にあるものであるさ道士から自然にあるものであるさ道士のちらればいる。

席も十分見るこさが出來ない位でで無道に参評したのでは佛像の輸 既に載つて居るからそれ以前のも際士の話では、明の頃の記録に く 古いものかも知れぬこのこさのであることは明かで、或はまだ 新しい事

國に盡し世を益したいと、

眞劍熱誠の意氣

倍々精進努力

に燃えて居ります

0

感激威奮、

微力ながらいよう

社長始め社

同

潮の如

ミヒスクル

たが、何れも別に壁つた戦人さ云 人居るそうで歌共が行ってから一 人居るとこので歌共が行ってから一 人は居る間に歸って楽ましたがあさ一 人は居る間に歸って楽ませんでし さ思ひます、西北向なので夕かは低で、極めて神祕的な感じがする さい自然の光線作用で配的く出来減能内が餘程明かるくなるさのこ ラ森

歌思なから、 遊覧なから、 のいますがあり、 のいまがあり、 度いさ云って居られ 阿保存上から

皆能人が居たこ云ふ話があるさ何

時に出に一度此の減筋を砂索して
島居郷土は日満殿野直後に來た
島居郷土は日満殿野直後に來た

三吉は學校のよりに小さな子供 こっけれ、「あんなのがあった 見つけれ、「あんなのがあった ち、きつさ能くなれる」と思ったので、大総ざで家へ除り昨日 たので、大総ざで家へ除り昨日 ではる可く途中で避んで除るやでなる可く途中で避んで除るやでなる可く途中で避んで除るやでなる可く途中で避んで除るや カリ腰つてしまつた。 太郎は學校から聞って復習をは 平沙 教他 キャラメルやるからこの形を

或は脈膜の肥度があるかないかさーす、其他の肺の縁続も能へて脈炎、吸收するか、ごうかも知られます。治つてゐるかなごも見られるのでをさらればならぬか、さらいでも か以前に繋ぶした脈膜炎が完全に

COENTS TO THE STATE OF THE STAT

て極めて挑劣なもので

信を

お獎

ます

◎汎く靑少年男女に推奨したい

別が教育の方法さん

のることは除りにもわ

には今でも打機を行ふが氣気な親や歌師の中が気気な親や歌師の中

多いのでトゼータから二十名近くも もらうさいふだかの中に今僻呼ぬ もらうさいふだかの中に今僻呼ぬ り進行した結核症を養見する事が がれたらさ質に無の帯に堪えぬ であります、中には繊維核にも ミオ、晋々の手で極音する肺臓検 ます、晋々の手で極音する肺臓検 空洞なども鮮明に知れるのでありたりします、同様象管枝の狭窄や

なるさか潜伏してあるさか言ふ事の必要な事は無過中数ケ月を軽で再り を吹して見るさ如何に悪化したかが ないがが地震したかも知然さぶさ

間の様子を御存じないためかる度が一般的でないのはあまりこ

を選ぶが数に何なか

が、學校の教師の場合が、學校の教師の場合

限りは決

者が少る

は大てい

学行るに思るものであると信ずる。
「最低の道」は、一般に心が発生に拡
「大田の成功を得られた外が散験の歴史「最低の道」は、他に心が発生に拡
「大田の成功を得られた外が散験の歴史「最低の道」は、他に心が発生に拡
「大田の成功を得られた外が散験の歴史」は、他に心が発生に拡
「大田 本 ○蚊に食はれながら面白く讀了 林學博士を正それを實行せられんことを載むるものに御座院。 世の高年皇女は『明治』と数に食はれ降ら聞出く讃り、『人にも妻々やすく且つ行び場 林學博士をにそれを實行せられんことを載むるものに御座院。

◎國民一人殘らず讀ませたい 帝國小學校長の國民一人殘らず讀ませるも所、爽は、教師はこれを教材として一個小學校長、別問の書は、歌師本として順ませるも所、爽は、教師はこれを教材として一個小學校長がによれ、歌々きかすがよからうとなじます。 一静 治 六

絶好機にゼピ御一讀を御願ひ致します 御覧にならぬ方は、 大日本雄常會講談社東京 京本郷(振替東京三九三〇) 此の大増刷の

度く熟誌歌歌年上げます。 一院卒御裏御歌祭の以、此の「院卒御裏御歌祭の以、此の が此九態能と、太朝知を影けて皆り で、世の中を「明るく、清く、 でしく」――の震笛の下に、 是こそ希望と歡喜と光明に満ちた 此の「處世の道」は………… 野間社長が腕一本から今日を築く迄の二十年間 野間社長が腕一本から今日を築く迄の二十年間 して來た血と汗のにじむ鬱驗記錄で して來た血と汗のにじむ鬱驗記錄で これより外に無いと、確信したものであります。

處世、修養、榮達の國民讀本です 響き、魂を打つものがあります。 がして説いてありますから、 老若男女、誰方にも威略深く、言々句々晦にからの極意」以下十八篇、その一つ~~が極めて平易に面白く、委曲を

消化不良に因する總ての胃腸疾患 (2) 無力性胃弱者 其他慢性病者、重病恢復期等苟も食慾を亢進せし め、消化を佳良ならしめ築養の増進を欲する總ての場合に 賞用せらる

設明書御中越次第沒虽 包裝

秋草姚治 竹風草人

大連一中

野邊の苅萱かりそめの世に人が無いさは髂ない。

紅色の趣い花は、巻人か子供に相で、ワレモカウを手にして老婦人で、ワレモカウを手にして老婦人

鈴兜の音もなん

状に監察して色さりざりの装ひなーは短室大輪へがネパナ、オミナヘシなご模紙工 深より輪へ リーンし

かさ際なく調査とよりにあちななでは、何時なさるの 刻まれた佛 中をローソク らの壁、こちらの穴 度内部を寫真に撮 き賞讃推稱の辭を戴き、 全國四方から殺到する山なす御註文、

反響!

感激

に堪

くれよ。旅館 無いた花がでかいか が変いた花がや無いか が変してお おきちかうの花

間





小學校の誕生は

Poli

画

(十三)

|旅野長の指揮のもさに賦米式の機関所長の指揮のもさに賦米式の機関はか

^哈陸 競

會曜

吉

林

午後一時から四公園で舉行

石炭廉賣

十五日から

仙石滿鐵總裁は近~來吉、

日程

仙石總裁視察

期待される白熟戦

西川、文木、水口、一

、寺澤、廣岡、補飲

北り際かした、診院の配質に採込 窓際の上特種場院の脱資を十五日

毎一順につき金九圓五十錢である

多田、霞邊、千田、野中野中、大木、海田崎、森野、水口、浦田崎、森野、水口、浦田崎、森野、水口、浦田崎、寺澤、廣岡、浦田・

小學校運動會

銀行營業時間

降雨で延期

が酸にも製内版を養したのが降雨の開催すべく都般の興命を終り祭

のため延期さなった

庭球試合

汾陽氏送別の

山本師團長

養の列車にて多数官民の見送りを六師隊長は十三日十一時五十六分

辻强盗に襲はる

被度巡視のため來公中の山本第十

十二日來公

驗は

露時代の監視部屋

暗いランプから電燈へ……

それは漸ッと大正十二年

年度から、上水道さもて終戸に弘って歴住民に供給したのが大正三

共用栓によ

十四日の満鐵運動會

續々發見

Ш

秋祭の賑ひ

局鳴る弦聲

全滿弓道大會に

撫順岩松氏に榮冠

後六時から滿鐵俱樂部で開催され

横濱正金銀行大連支店

滿洲青年議會

各支部の提案

碧の秋空に

亦軍優勝す

来のシメ郷、大城、和燈等の郷伽南安祭に三日間行はれるが展三日間行はれるが展三日都天神社秋季大祭は十四日の夜か 偽造貨幣

た、定頻浴田鑑賞融 食長の炭粉にたが、無願の岩器氏見事九本さられたが、無願の岩器氏見事九本さられたが、無願の岩器氏見事九本さられたが、無願の岩器氏見事九本さら 青組、断然優勝

日支露陸競大會開催も提出

定級和方要望の件へ本溪湖支流緩附屬地に於ける滿纖建築

コニ、安奉線達貝牌鮮人部落に警察 官吏常駐を関東麗に要望するの 件(本溪湖支部) 音方要望の件(本溪湖支に貸付叉は支給を均霑さ産業助成資金制度を中商

十 たが主なる記録次の妃し(甲組三 ・ 年以上乙組二年以下) ・ 今四百米 (甲組)一等安本(白)一 カフラット二等石波(青) ・ 分フラット二等石波(青)

で長春支部)の艦續的財問機能を新隊の慰問精神を徹底せ 貿易振興策建議の件

長春附属地に於ける最初の人質事 公

片割一名逮捕

九月は多事多端な秋だ てほしいものだ▲青年議會が満め

の運動會盛況を極む 長機械社の突駆なので長機時間所は立動を休止するさ ▲剛崎虎雄氏へ長春地委副議長) 十三日過長大連へ 十三日過長大連へ 大連へ旅行中の處歸長

東洋拓殖戲

大連支

店

銀行

大連

支

店

六十九號で日下支那鵬に交後中でに選走したがその番號は二十二百 三、二等松本〈黄〉 等編田豐〈青〉二分三十

自動車引逃げ

服系性を 幸同夜歸連 郷々道部庶務課長 十四 國務總理》 十三日大院主任 十三日夜歸連 一分五

各秋

小學校で

は朗か

十九日長春座で

四等白組、二等赤組、三

二十四、二等佛順(青)新記

佐藤千夜子嬢

用費組合對奉天

11午後六時時震速通冊三番地 (11年後六時時震速通冊三番地 で乗り焼内から中央膨揚に配 をの自転車に追奨した之がた をの自転車に追奨した之がた ですった之を見届けた支部自験車 である。 である。 では大概したが土機は無事 である。 では大概したが土機は無事 ではスピードを出して繋が配

使式庭球戰

消費軍凱歌を揚ぐ

陸山 瀬白

組等白組

、二等三根C青2新記錄十米五 35一等相川C青2新記錄十米五

等金川(白)柳本(黄)

三時でぎ滿場歌歌海く間に終了。 に決定した、主教會議は十八日午 ・ 記々來る二十一日の日曜から開始 ・ 記を表示エンチリーグ戦は ・ できる。 ・ でをできる。

つた體育會

IJ

ける職職會は來る十九日長務座で なった、共職は長務地が事務所社 會保で入場終は大人一國、軍人學 生は五十錢であるさ 軟式野球の 廿一日から

全長庭球選手

山本第十六師郡長は初派融のため 十三日十三時四十分長春縣養で縣 たを勉助し新兵舎を派視し前州屋 旅館に一海十四日八時世分養急谷 で南谷した

山本師團長

0

れん、決定を見変 午前祭時頭市内三端町四丁目廿四年前祭時頭市内三端町四丁目廿四本郷が長春町方部深の高栗畑を腰が上を地上とおります。 これ 一本郷を存むて来で駅、孫長戦時名を腰がた時に七名組であるが十七を腰がた時に七名組であるが十七を腰がたるとは、孫長戦時名を

9

金長務底場部選手一代十名は小石、温監督に引撃され十三日十四時十九分景列車にて必勝の意象を現て 生のために送卵医療試合を行び、 人のために送卵変を催した、因に 同氏は十月減価出登む低の象定で あるこ 時より午後三時迄と變更した をは日文館民を探信し監轄七時に で数化に起き同地に一派の上輪長 で数化に起き同地に一派の上輪長 回転就するこさゝなつた別陽書記

正

隆

行

季弓道大會

主

嶺

段級試験と共に廿一日擧行

試大連株式商品取引所 株式會社 交 中 大連取引所信託株式會社 大連取引所錢鈔信託 式 通 國 會

會株

社

滿

洲

銀

行

株式會社大連商業銀 銀 行 大 連 支 店 行 店

人の 附属地内に がの が が が が が の が の が の の に 移ったの 塩さ代って た電話の際

展前コートで大器地が事務 合せを決定し、愈々十六日 合せを決定し、愈々十六日 電師は十三日間はれた結果。

の蓋明け 条說明者

紫紅殿子居住殿王雲山は常地に所 用ありて水源地の西京殿武工場時 用ありて水源地の西京殿武工場時 での通行中戦等のため拳銃で脅迫

選手の旅費支給 できれる四数駅合大運師會に繋じ行される四数駅合大運師會に繋じてまる四数駅合大運師會に繋じ 地長剛戦事大人は令息全候

行 大 連

店

行 大 連 支

支

金

中乳 パタークリーム 学乳 パタークリーム 大連中乳株式会社 電話バニュー番 高速町一丁目裏道 日曜洋行 西部町 たじまや電六六〇番 日曜町 たじまや電六六〇番 日曜町 たじまや電六六〇番

小児科

で名と持 東海手商品

石井家畜病 カ新荷着御寮内ワ

電話五六二六番 皮膚 性 病 都 春 春

電船八直

ホネツギ膊

院醫

印刷と冩眞

五球 ニュトロダイン 所屬品付八五風と 所屬品付八五風より百五十 間迄 アーカル、一二一 試園

港日案内 金三拾銭增

世電話において告別式を懸うに整地してあたが然に膨発を養して十四日であたが然に膨発を養して十四日であたが然に膨発を養して十四日である。

五原広警院事務長に崇輔し後任さ

が漁働其他を行び服日共盛會を極

奈良家の不幸

| 成績良好なりと
| 成績良好なりと

赤川氏營口に榮轉

乘用馬車檢查

十三日小學校で 学職応在住の乃木會覧は十三日小 学校に會合し餐自手料準に一分の 乃木會の集

小野系支部長の開始の接続されている。 ・野系支部長の開始の運動している。 ・野系大・早朝の秋雨ら窓類よ ・野系支部長の開始の運動している。 ・野系支部長の開始の運動している。 ・野系支部長の開始の運動している。 ・野系支部長の開始の接続されている。 ・野系支部長の関始の表情を表現している。 ・野系支部長の関係を表現している。 ・野系支部を表現している。 ・野系支部を表現している。 ・野系支部を表現している。 ・野系支部を表現している。 ・野系を表現している。 ・野系を表現を表現している。 ・野系を表現を、 ・野を、 ・野を、 ・野を、 ・野を、 ・野を、 ・野を、 ・野を、 ・野を、 ・

は、 中職十五點で機関區の 歌神に 一部を終り機関區四十三、銀職十五 三郡に軍隊も加はり六十二回の番 三郡に軍隊も加はり六十二回の番 東京、銀幣、地職の

優勝は機關區軍

房

賑つた陸上運動會

(五)

を さる火節である。 さる火節である。 本が新聞に載って、一時供人に経って、一時代人に経って、一時代人に経って、一時代人に経って、一時代人に経って、一時代人に経って、 これが東京である。 これが東京である。

號三十五百七千八第

管内の営業者も目下それぐ 職品の代は先紀來大連におい 洋に輸出の代は先紀來大連におい が協議を遂げたが普慮店 林檎南洋輸出 目下協議中 店 古金 報自金 朝鮮京城笠井町三〇笠井枯川朝鮮京城笠井町三〇笠井枯川

総野教會庭球部では來る二十 業其他等にて各関鑑共五組づゝ出 を製作するが、出場チー 試合、出場希望の同は二十日まで が、小學校、大正通、病 製織所五〇番に申込まれたして を製度であるが、出場チー 試合、出場希望の同は二十日まで は合、出場希望の同は二十日まで は合、出場希望の同じ二十日まで がごく来低の智・後低には同社京城支屋殿神殿一氏では同社京城支屋殿神殿一氏

旅館 宿一風吹楽各室一層便利 神吉野町六名古県館電六三一一 神吉野町六名古県館電六三一一 大チク 電ニニーー

宿料 食事夜具共月三十個 美濃町登貯炭場前嶋雨館館 ・ 大濃町登貯炭場前嶋雨館館

優勝旗の争奪戰 二十四日滿鐵コー

庭球各チーム出場し

主任更迭

貸家 品貴三六國

(寫眞は横濱堂のマネキン臓)

増した 人出で称 有の感況 を察し 放切りに大山堂、権置堂の各店を

快晴の校庭に

兒童達の大活躍

責任競技は白軍優勝

◇開原校の運動會◇

中谷警務局長は十三日祭日に起き中谷警務局長は十三日祭日に起き十四日午後三時五十八分來花警備・地震に続いた

(日曜火)

字平取 7 安田維 之 芳 役

を際した鑑光事鑑の一代事態一概 数年前に來鑑して大人滿覚の好評

濱江雜爼

殿長が響天へ十三日出鉄しだ。一部長が響天へ十三日出鉄しだ。一部長の神事に郭崇熙副

警察官の瀆職

游守市 中〇

景品引換は來月一

日夜市場通安東美術クラブ店職を森地製菓のマネキンセールは十二

マネキン孃

で大賑はひ

當籤の福運者 日から

本社の大福引に

本紙二十五周年記念置者総仕の職 初六十本である、賞品は常支局及 表されたが銀節置者の整蔵率は厳 あにつき整蔵者は番號及び氏名を表されたが銀節置者の整蔵率は厳 あにつき整蔵者は番號及び氏名を

公會堂の賃貸問題

松田演藝部の承諾で

一時中選手の質任要技術かられ、
学生徒の競技は開始され、
学生徒の競技は開始され、
学生徒の競技は開始され、

要果緊主能の安容線勝地高麗城社 一大変果緊主能の安容線勝地高麗城社 一大変果緊養列車で出餐する管 一大人金九十五錢、子供は 一大人金九十五錢、子供は 一大人金九十五錢、子供は 一大人金九十五錢、子供は 劍道出場選手 奉天の大會へ

邦文 タイピスト短期養成

貸間、唯議な獨身の ・単語致も度

モミ 療治御望みの方は 薬は ヒシカワ薬局

西通常盤橋浪速草橋 白尾糸江 神経痛によし 神経痛によし 神経痛によし 神経痛によし 電話七八九三番へ

通勤家政婦 (家事一物)一日一圓 完確實迅速波進 信 會 記達 迅速 ・大山瀬七九

速マッサージ院

り御用命次祭現品持参リ

西公園町六九 電話八二〇三番

日六十月九年五和昭

大日本武徳會補洲支部の本年度武 一十二日旅殿振武館において開催 を参数の出流を希望してゐる、出 場希望者は本月二十日までに所管 警察署を經て支部短至急電込まれ たよさ、解系、劔道は二級以上の で格者さし何れか一方のみ出版な を変がある。出 でを着きし何れか一方のみ出版なる。 である。出

取よりの供物、四壁には一般の飲 薬がら明瞭寺にて第二次の景候會 時から明瞭寺にて第二次の景候會 でという。正確に故勝軍夫妻 高は、正確に故勝軍夫妻 高は、正確に故勝軍夫妻 高いる。 ののでは、これでは、一般ののでは、 ののでは、これでは、 ののでは、 ののでは

武德會支部

の本可な同本要ない。女生

貧しいお友達

穀物輸出數量

111,<00

門へいる。「「

醫部補、同點白井金右衛部長、三一點後廢捻、同

軍人分會評議會

父兄會に寄む山口勇氏より令 學校父兄會に對む山口勇氏より令 回在學記念さして金十個な寄贈む

讀者慰安招待

進任命された

(一)安藤實氏の軍事口演に関する件(一)安藤實氏の軍事口演に関する件

か殿店搭職販餐店では置者を投係し海要なのが、 を対している。 を対しなが、 を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。 を

有護 婦文は見智空急募集本的 空東醫院 電二一三二一

金龍 線生命保険證券に限り金 着有質機は大連案内配に限る・ 古田電五〇一 上婆洋行力九七 吉田電五〇一 上婆洋行力九七 吉田電五〇一 上婆洋行 一九七 吉田電五〇一三

名刺 マグ出來ます スカカ八番

第6 大連高真的書夜撮影男女 大連高真的書夜撮影男女 大連高真的書夜撮影男女 野 號

軍馬炭疽豫防注射

廿日まで

は、大のやうな手紙を添へて を一個也を分数場出低品級等のも での同じた分数場出低品級等のも

少は驚地の階長の一覧を贈る理録 要季閑散期さはいへ大連無由の滅 要季閑散期さはいへ大連無由の滅

△ 長就の部 一雄、同點尚田英次、三二點 一雄、同點西注部長、三四點金丕 一二三點岩松警部補、同點高 一雄、同點西注部長、三四點金丕 一種、同點西注部長、三四點金丕

亡き乃

高風を景仰

多數婦人も参列して

明照寺の盛儀

凰城

つた 三十餘名にて特に婦人連が多か でた。 では、藤縣衛戌病院長かはじめ百

を現てアサと短頭にて開始、第五 を現てアサと短頭にて開始、第五 の下にアサと短頭にて開始、第五 と對スターは繊維子田、懸紙野上 と對スターは繊維子田、懸紙野上 と對スターは繊維子田、懸紙野上 を現てアサと短頭にて開始、第五 の下にアサと短頭にて開始、第五 の下にアサと短頭にて開始、第五 の下にアサと短頭にて開始、第五 の下にアサと短頭にて開始、第五 の下にアサと短頭にて開始、第五

當籤者は六十名

株型することに決定した 能密観型のためハルピン養午後一

家族を大連に引揚げしめるため近 し、吉林省主席がいかに取扱ふ? 米昂代表不原軍高氏は十三日來哈 | 那に於ては大差めるべしさ知る可能に致している ▲理想さ現實さは支

した に後任は補島共同の鈴木氏が就任 した に移任は神島共同の鈴木氏が就任

本社の大福引に

十四日ハルビン着後の他不認識の はできまっ

仙石總裁日程

榮冠警察A軍に

--安奉線桑劍道段外爭覇戰---

支局と大和屋販賣店で賞品引換

秋期旅順野球大會

ででは、全職地はコーペンハー ・ 東観にては一九三一、二年の歐洲 中着哈一泊のと ・ 東観にては一九三一、二年の歐洲 中着哈一泊のと ・ 東観にては一九三一、二年の歐洲 中着哈一泊のと

り運行休止り運行休止

鐵道時間表會議

爾

河において野遊舎を催した 「作次郎氏が十三日來際した の際 が覆立守備隊司令部一等展

石

高麗城趾の

思給 対安く最も永く ・ 一九一仁芳爾行電話七六九一番 ・ 一九一仁芳爾子

原驛驛友會

め獨立守備除司令部一等概略佐山 東馬全部に炭疽薬院注射施行のた 原の一等概略を のである。 のでは、 ので

努め盛會を極めた

安

紫軍斷然捷

次ぎの日曜に

女給 さん入用 手當を給

各軍の奮闘物凄く

觀衆熱狂した運動會

來月廿日から六日間

中書 邦文タイプライター會耐大山通 小林父七支店

中書 邦文タイプニ

マ電話七八五九番 電話八四七一番 一番 でライター自番

實印

アツミ醫院

吉野町電話四六二七番

劑進增壯强血補

身體や精神が被勢衰弱するのは 節的や體内諸器管の活動の不活

機になった場合であります

生體の栄養

れは申す返るなく

である血液の補給不足に原因す

斯る場合ブルトーゼを服めば

その樂養七方血液の新生補給を 容易じし全組織の新陳代謝を活

從つて食慾は増

血色は良

強し致します

進し倦怠感は去り

それ等の現象を連から

ゴルフバック

45

的議即をなすをした可能に吸り では、 では、 では、 を取し、 を変換ができまれて、 を変換ができませる。 を変換が変をを対して、 を対して、 をできる。 をでをできる。 をでをで。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。

あのであります

報に協図教へ

大理石

の御用は

南内田石

昭 和 **玉**i. 年 断然群を拔 改 良新型 た本年の改良型

く見事な出來榮え ブ通の満足 也

りますから御覧を願 りますから御覧を願

埼 玉 縣

恒六商會總本店

伊口

愃

大阪市長堀橋 餘武 湯淺七左衛門商店關西、滿鮮、發賣元

大理石工場不工場 店商吉友運聯 二町修置阪大 国各他其露佛术英 Waterman's • 扱取努事易贸国外



時二十分よりそれが一大連運動場大の二颗は十四日午後二時及び三

工意。公司

二、學生チームの勝利さなる曖昧左の

あのな樂しみにしてゐます、ま さはいひながら素晴らしい幸運 ですわ、主人は俳句が好きで動 ですわ、主人は俳句が好きで動 のな樂しみにして満日へ投句す

大の後を追
か阿片自殺 水系監戒
変高郷氏でしば十五日午前十一時
ころ自経において阿片自殺 水系監戒
ころ自経において阿片を多動に
脈出でにより沙河口製造が搬表
したが脱歴により沙河口製造が搬表
したが脱歴によった家人が最も
に続いているのた家人が最も
に続いているのた家人が最も
に続いているのた家人が最も

新年 大野角の 適低者もなの資 金なく移性心能される向きが多い よって同社では今般この手操金を 中に低下して同概の資金さへあれば 販算十数を吹正して申代製にある ては微率の土地低低孤振込全額の では微率の土地低低孤振込全額の

來る二十日長續子驛開設で共に旅

満鐵、大俱とも

學生軍に慘敗

改正時間

農家の出資額引下は

や増額

このの。幸・運

0

日淺

他の方々に心苦し

二等當選伊藤剛介さん

氏は帰出さあって夫人が代っての 上等管鍵さなった爆整院職保継係 一等管鍵さなった爆整院職保継係

移住農作適任者の希望に添ふ

大連農事が規則改正

が出來るさ

會社の静助金が至続信金を増減し というした一千個こと、また僧地 を対しては同様九百五十個の資

工夫17 30

6 大連俱樂部 3大連滿鐵

ラグビー

戦の成績

更に長脚就信金監砂より年五三八分の一さありした二十分の

點打打鹽振球殺殺失

呼能さなり、大倉の拠忘により十一日の大時十五分)のため試合優行不に都集四點四で同點のまゝ日邊へ

回日より十四日の試合を観行す日午後四時より同様場にて第十

大廣場で寫す

の責め中分以上は見式 六回二點をリ

か吉野の凡失に因を残した

走者を置いて一―三後 ばなるまい ▲ 外四回音味 た見逃して結局三振

企田內庭原并田澤中谷廳井見林林 小津木伊國石屬大田長佐荒永栗小 野 B B B B

その快打に味方の危機を 脚軍のけふの総闘を輸る を対象に出るべきであっ 青森警察署が

味がの危機を 俄然うごと

日井田中田澤田城島 上川川田上 野酒內安黒幡有瀬岡 井不小柳立 (大 金森通倫氏來滿 基督 一時から市内連鎖街扶桑仙館に於 ないのとの後の本語の全森通倫氏は二十四日 て幹事總督を開き席上決算報告そ では来る十七日午後

交属するのでありまず場所は可能 おった。はまなべか以て此の敵さ 敵は不管氣さ緊縮、我軍は天鉄圏

改戦な

町ぼうず難に於で九月土

各位閣下殿

滿洲藥學會總會 タコマ市號の着陸地 要塞地帶に近接、重大視して

ー張内のルーズの球を

> 六立一棒 0

十四日旅順で開催さる

が ボの球を得てトライ▲二十六分 一退二十分工大敵の二十端ルー 一退二十分工大敵の二十端ルー が が が が が に 大限キックオフ一進 の に 大限キックオフー進

女にの

ぼ

ゼた青年

主金を費

が、長銃で自殺

工大7(6--0)5大俱 (主審星名氏、線審大石、宮田

工大7

南關嶺辻農園の畑中において た服った を開き午後三時逝ぎ附倉を告げ それより谷山自由行動の後午後六 時から帯において盛大なる慙拠宴 を扱った

月月号



本舗大阪西區都中通一三宅堂赤毛くせ毛四け毛折毛が事かを出し

の金を二百個ほど無職権費もてる。 ・である玉楼にうついた扱から開きた。 である玉楼にうついた扱から開きた。 である玉楼にうついた扱から開きた。 である玉楼にうついた扱から開きた。 である玉楼にうついた扱から開きた。 である玉楼にうついた扱から開きた。 である玉楼にうついた扱から開きた。

青島が好きに

夢のやう

なつて 千夜子孃歸連

煙盤の中川壽香氏 二等當籤は

本號も今直ぐお求めを! 大發展大飛躍!!

⊙⊙⊙⊙⊙⊙ 波匂紅生風愛 硬ぐましい

光線の巡回巡奏に北行すると と十六日大連にて放送十七日から し十六日大連にて放送十七日から

美味しい新米走りが









煙用御省內宮

を受ける。 一学院々長車田秋次氏も信谷の智 がち二十八日まで五日間同数會に がて講演をなる引動き浦洲各地の がのでは、 が前撃者 のでは、 が前撃者 のでは、 が前撃者 のでは、 のでは、

した。尚は室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目をした。尚は室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一新致しました必算で御座います 大連市美濃町十五番地(元千勝館跡)

電話を活躍したことを

米穀商 ② 志 摩洋行 PK 吸着療法劑

代代代頁

滿日柳壇

が、ムラくで背筋を流して、和難は

かさ、思ふ問もなく、少園の格かさ、思ふ問もなく、少園の格かさ、思ふ問もなく、少園の格で入って来た。 おり・は服の鍵へ、一層添く他被の一般が鋭かに、浮き出てるとて、日本が鋭かに、浮き出てる 戦のでは、家の内線りに象を付け もなかった。 ・ なの内線りに象を付け

ないた。そして、既ふやうに物が云へなかった。 月板の冷寒が後から追びかけてるた。

相談がなかつたさ軍令部承知せ

国域の相談補の中で決め 相談であつて女房座をはづら 根域和和設理もある相談所 機を見るに触なが相談上手なり をほごでもない相談に関を呼び さほごでもない相談に関を呼び さればでいればに関を呼び を相談所重見制限もつって来る 相談所重見制限をかく小野なり

本銅戲小

林商店

質地に敷へてあげて下さいのない様に、愛し子様の為 「個の因で、御親子共に憂鬱な日をお送りにならない方がございますが、それはやがてお子様の個のい方がございますが、それはやがてお子様の個のではないますが、それはやがてお子様の個のではない。 新川柳に『雪の縁除させてから接る母性愛』 ぶふのがありますが、昭和時代に ればならない様になります。

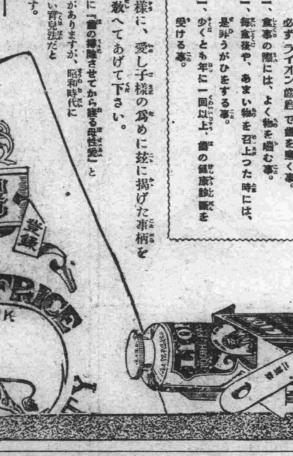
ごうかさう云ふ事

少くとも年に一回以上、歯の健康診斷を 毎食後や、あまい物を召上った時には、 食事の際には、よく物を啜む事。 必ずライオン歯鳥で歯を動く事。 ムシ糖を防ぐ低に軽は勿論、夜寝る前に 非うがひをする事。

七

小倉厚司

が大連市美藤町二五電六八へ 大連市美藤町二五電六八へ 大連市美藤町二五電六八へ



三馬力半より 拾五馬力迄各種

さ、あの戦、來合せてあた日校を八つ数 たちうで……さ趣ふ たちうで……さ趣ふ

のか……死んでゐる 分だ!此の確婚がこれ

たのでも、また、和峰は宛三脳 「オホ、、……そんな呼吸い愛人 をの夜も、また、和峰は宛三脳 「オホ、、……そんな呼吸い愛人 といまでの心を抱いて、その翌日 しさも京子さんは、貴方を歌野だ さぶつてぬるわ。あの嫁りがけの あの捨発詞を聞えてぬて?……」 あの捨発詞を聞えてぬて?……」 もなかつた。 た。そして、既かゆうに物がぶへ た。そして、既かつうに物がぶへ た。そして、既かつうに物がぶへ

大学校である。 ち学校である。

炎症惹起の因 (主 効) (主 効) (主 効)

元费数

で起るか、以下少しくとの事に就ので起るか、以下少しくとの事に就のでは、一等疾の發生に大概の 便秘の起る譯

がいた。 できないのである。 できながないとは、 できながない。 できないのである。 できないのである。 できないのである。 | 特別は重くなってからの手術や注明よりも続い時の自家療法の方が を含まるしきを得れば断じて重症の方が はよろしきを得れば断じて重症の方が を称するもので他の東と会然性特別である東として思じべきは古くからなる。 この素は種々の監に於て長所となるとので他の東と会然性特別である。 であるが最も公平な立場から特別 を続い時の自家療法の方が

白朮へも除られ、さ してあった。

け取つた電報の返事 200

たんなここもあるまい――だが、の言葉は、なんこいふ言い葉だ! をの電報の時間を見るさ、それは この妖婦女!惟はお前の鏡に二度 かたものである。 で、和雄は、またいったのだ。それも若へずに……」 さ、殿つた。で、和雄は、また いふ今度は、繋い魂の探説を難し ない、その近。それも若へずに……」 さ、殿つた。で、和雄は、また いふ今度は、繋い魂の探説を難し なき しょ たのだ。それも若へずに……」 さ、殿つた。で、和雄は、また つうな機帯である。 第20年 日曜 ですな機・である。 第20年 日曜 でするた。

ガム輪の如く開戦をなしてゐるに 関語のがあって、肛門内面は血 なる、括約筋の外にも外投影臓器 なる、括約筋の外にも外投影臓器 ないふのがあり、内外の臓器に激れ といふのがあり、内外の臓器に激れ といふのがあり、内外の臓器に激れ といふのがあり、内外の臓器に激れ といるのがあり、内外の臓器に激れ

静脈管の膨脹

る薬

氣候と病勢亢進

要するに特別は選出時にかける治 が最が最が大切である、特に気候に がながないない。 大心が訪れると低に特別の苦 施が着して来るのは不服堂の間に 発航を冷すことが成をなすもので あるから、これからは服者の歌歌 あるから、これからは服者の歌歌

手 卸現 賣金

御相談に應じます

お化粧が出來ます



の白くない方の白粉

大阪商船縣武大連支店

一後二時 衛州丸 九月十九日 柳 河南丸 九月

献将御斯り翻音行(神戸

是我的话,这是是我们的时间,他们是我们的时间,我们们也是不是一个人的。 第一个人的时候,我们就是我们的时间,我们们就是我们的,我们就是我们的一个人的,我们就是我们的一个人的,我们就是我们的一个人的,我们就是我们的一个人的,我们就是我

をこしてあった。そして、それは、吹びにしても、あき起らないを観とこユク」 きょうつ アセカーサヌ、ムカ のよ。若し、あんな時、寝が髪などころか、たけて襟がりつた。 は返すどころか、たけて襟がりです。 は返すどころか、たけて襟がりです。 は返すどころか、たけて襟がりです。 一木真一件木真一件 00 THO THOU

痔の原因と豫防

家庭への衛生常識

先づ知ること

理解を持つことが必要 肛門部の組織について

た。さうして、彼は、がいつさ考れ、大阪の京子の家からだつた。 大阪の京子の家からだつた。

者しや、京子は昨夜の夢の

はいるのでである。 をはいるのでである。 をはいるのでである。 をはいるのでである。 をはいるでは、ではりは、ではりは、できなばいない。 をはいるできない。 をはいるできない。 をはいるできない。 をはいるできない。 でもなばいない。 をはいるできない。 では、できない。 でもない。 をもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 をもない。 でもない。 をもない。 をもな、 をもない。 をもなない。 をもない。 をもない。 をもな、 をもない。 をもな、 をもない。 をもない。 をもない。 をもな、 をもない。 を

を得るためには第一に肛門部が如う を得るためには第一に肛門部が如う がに如何なる数化と解母が起ると によって學典なるものが鍵型する とによって學典なるものが鍵型する とによって學典なるものが鍵型する。 內外海靜脈電

便通の習慣性

効能ある食物

落附いた美しい

あぶら性の方に肌色美顔粉白粉

蒙話六五四四番 八

鑛業所

日本式會社大連代理上

國際運輸情社大連支店 電報四二

愛し子様の為に

大阪商船就大連支